

そうせい

第 100 号
記 念 号

人 心 新 歳 月
春 意 舊 乾 坤

「新 春」
余 涼 雪 鏡 かに 乾 き
初 晴 日 暎 かに 喧 かなり
人 心 新 歳 月
春 意 旧 乾 坤

真山民詩より

目 次

| | |
|-------------------------------|----|
| ○環境問題特集 -その2- | |
| ※木のお医者さんになってみよう！ | 1 |
| (財)サンワみどり基金 | |
| 日木樹木医会「木のミニ診断カルテ」から | |
| ※地球の秘密 | 4 |
| ※宗務庁環境問題ビデオ・フィルム紹介(ビデオライブラリー) | 5 |
| ○インターネットの世界をのぞいてみよう -その2- | 7 |
| ○年頭挨拶 全国曹洞宗青年会会長 寿松木宏毅 | 11 |
| ○祝 辞 宗務総長 乙川良英 老師 | 12 |
| ○他人の読みを吾が痛みに 全曹青初代会長 門脇允元 老師 | 13 |
| ○紙上研修「利他行」(3) | 14 |
| -太田久紀 先生- | |
| ○禅文化学林 大分開催のお知らせ | 16 |
| ○聞いてわかる葬儀・回向本の研究発表 | 18 |
| -岩手曹青からアンケートのお願いと回向文の掲載- | |
| ○近連協主催・参学の集い「白山拝登」 | 22 |
| ~白山水を求めて~ | |
| ○曹洞宗婦人会中央研修会へ寿松木会長出席 | 24 |
| ○祝100号「行持および専門用語の大衆化」 | 25 |
| 東武トラベル 中根敏次 氏 寄稿 | |
| 「記念号によせて」 (株)安藤 安藤宇助 氏 寄稿 | |
| ○コラム・編集後記 | 26 |

曹 洞 宗
南米開教法要(ブラジル)
8日間(関西国際空港発着)

参加費用：398,000円

お問合わせ先：日本旅行 本社内営業支店

期 間：平成10年6月17日より

☎03-3572-8372

平成10年6月24日まで

担当：武田 常雄

★環境問題特集—その2—

『木のお医者さんになってみよう!』から

「木のミニ診断カルテ」の手引き



・(財)サンワみどり基金 日本樹木医会

私たちのまわりには、いろいろな木があります。学校の校庭や公園の木、道路のわきに植えられた木、神社やお寺の大きな木、近くの雑木林。私たちはさまざまな場所で木に出会うことができます。ところで、みなさんは木が病気になることを知っていますか。人間の何倍も長生きする木でも、人間と同じようにケガをしたり病気になったりします。でも木は「痛い」なんてことは一言も言いませんね。じっと我慢してじっくり自分の力で直そうとします。しかし大きな病気の時は、やっぱりお医者さんの力が必要です。そんなときには樹木医さんという木のお医者さんの出番です。この木はどこが悪いのか、なにが原因なのか、どうしたら元気になるか、しっかり調べて治療してくれます。

この「木のミニ診断カルテ」は、みなさんが木の健康状態を診断できるように、作ったものです。さあ、ここでみんなが木のお医者さんになって、木が元気にすくすく育っているか診断してみましょう。(同、手引きP2より)

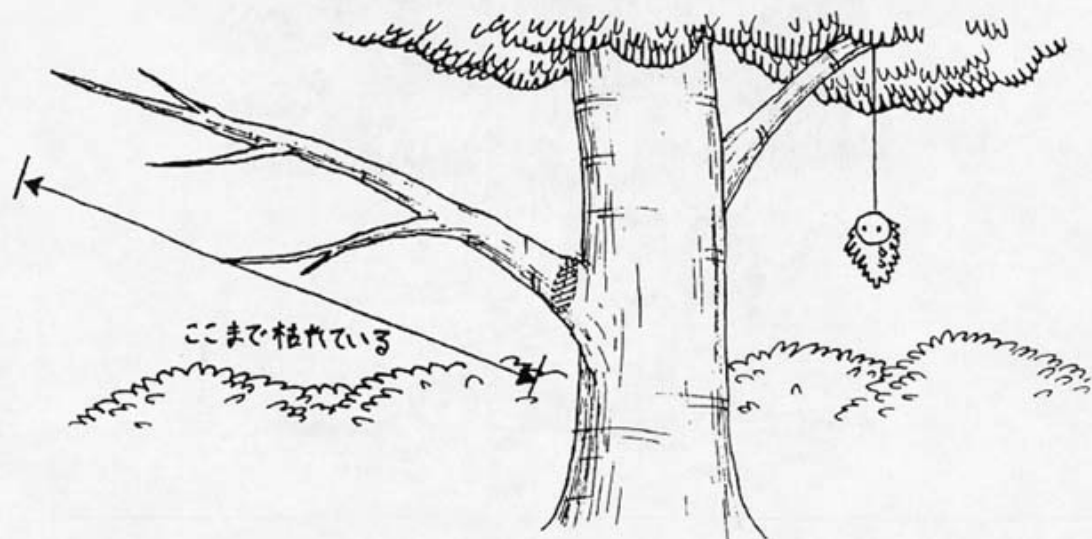
※酸性雨の観察など私たちの身近なところから環境問題を
子供といっしょに考えてみよう!!

☆環境問題特集—その2—

『木のお医者さんになってみよう!』から

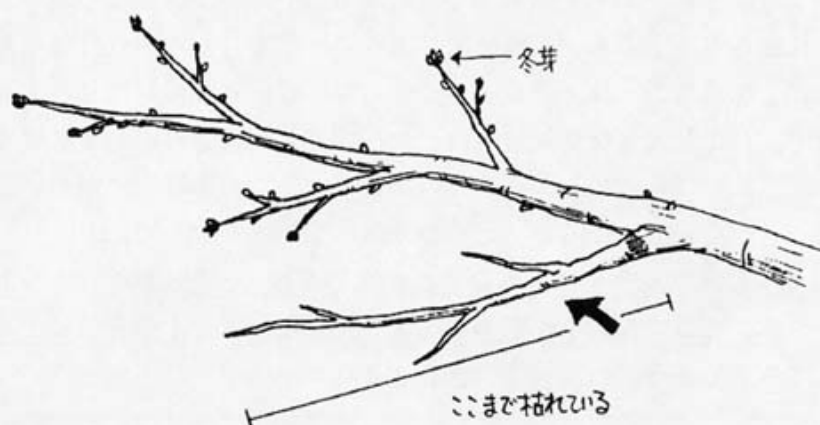
③枯れた枝がないか?

枯れた枝ってどんな枝でしょう。細い枯枝は、葉がついてなくて、ポキンとすぐにおれてしまいます。でも太い枝は簡単にはおれません。葉はついてないのはわかるけど、どこまで枯れているんでしょう? 葉がついてないと、木に必要な糖分を作れません。だから、葉がついてない枝全体が枯れていってしまうことになります。



☆葉っぱの落ちた冬の場合

葉っぱの落ちてしまった木でも、枯れているかどうかはわかります。生きている枝は冬でも葉っぱの芽(冬芽)があるのです。双眼鏡で枝をよく観察してみましょう。

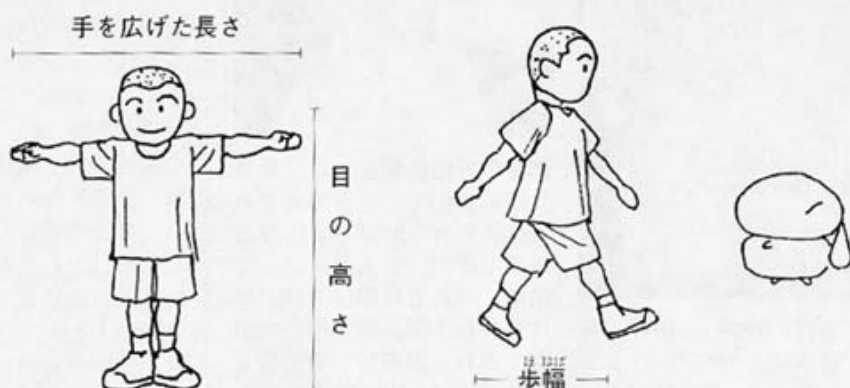


★環境問題特集—その2—

『木のお医者さんになってみよう!』から

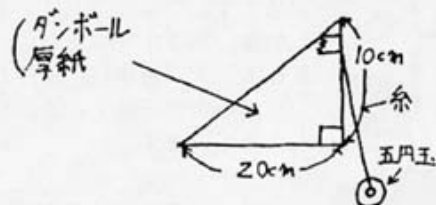
④木の大きさ

木の大きさを計るために、自分の体のサイズを知っておきましょう。

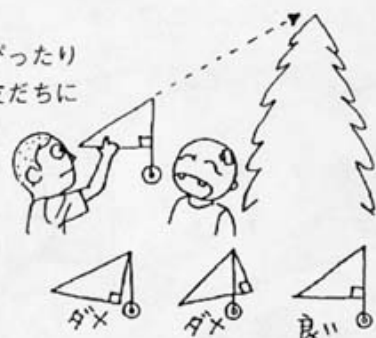


☆図のような方法で高さを計ってみましょう。

底辺：高さ = 2 : 1 の
直角三角形に図のよう
に糸と5円玉をつける。

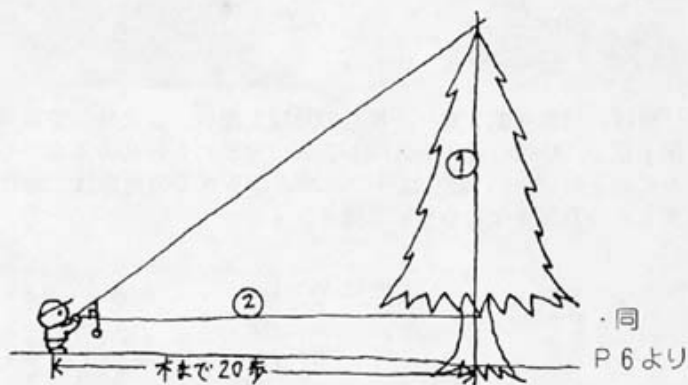


糸と三角形の辺がぴったり
あっているように友だちに
見てもらおう。



(例) 自分の歩幅が60cmだったら、
 $20\text{歩} \times 60\text{cm} = 1200\text{cm} = 12\text{m}$ ②の長さが12mだから①の長さは6mある。
これに自分の目の高さ(仮に)1.2mをたすと7.2mこの木の高さは7.2mだ!

平らな場所でしかはかれないのが欠点なのだ!



日本樹木医会への御連絡・お問い合わせは、全曹青事務局0182(22)4233へお願いします。

☆環境問題特集—その2—



各国語版の「地球の秘密」。現在、英語、中国語（北京語、中文）、フランス語、アラビア語、ハングル語の6ヶ国語版を製作。約10万部を世界中の子供たちにプレゼントしています。



作者の坪田愛華ちゃん。環境問題について、担任の先生から与えられた問題を、得意な漫画で表現。2ヶ月がかりで描き上げた数時間後の1991年12月26日未明、突然小脳内出血で倒れ、翌日12年の生涯を閉じました。「地球の秘密」はその枕元に残されていた。愛華ちゃんの最後の作品です。

12歳の少女が残した メッセージ

1991年12月27日、島根県の小学校6年生・坪田愛華ちゃんは、私たちに地球の危機を訴える熱いメッセージを残して、その短い生涯を閉じました。

愛華ちゃんの遺作となった環境漫画「地球の秘密」は、生きものみんなが支えあってこそ地球の環境が守られる、という視点のもとに描かれた作品です。

地球の歴史、生命誕生と進化、自然界の仕組みやバランスを知ることから始まって、海洋汚染、酸性雨、森林伐採などを漫画でわかりやすく解説。リサイクルや資源保護、国際間協力、市民運動の大切さなどを訴えます。そして、かけがえない地球を守るために、一人一人が決意し、毎日の生活の中で行動することを求めています。



「地球の秘密」第3章「現在の地球を探れ！」より。愛華ちゃんは、第1章で、植物も動物も人間も、海で生まれた最初の生命から進化したことを解説。「いのちの一つ。地球のすべての生命は、助けあい、支えあって生きなくちゃ」と訴えます。



地球環境財平和団 活動のご案内から

○お問い合わせは

TEL 03-5442-3161

FAX 03-5442-3431

※前回99号にて愛華ちゃんの「地球の秘密」を御紹介。各方面から反響がありました。「地球の秘密」のビデオもあります。また、本庁でも16ミリフィルムを貸出しておりますので御利用下さい。

☆環境問題特集—その2—

みなさま知ってますか?!

宗務庁 教化部の

視聴覚教化(フィルムライブラリー)のご紹介!!

教化部では、視聴覚教化として十六ミリフィルム・ビデオテープの貸出しを行っています。(フィルムライブラリー)最近では、環境問題に関する映画もとりそろえていますので、青少年・檀信徒教化に活用していただければ幸いです。

(教化部企画研修課)

平成九年度

フィルムライブラリーの
利用について

■本年度教化方針テーマ「まごころに生きる」にそって、ご利用下さい。

一、貸出映画

- ・十六ミリフィルム
- ・宗門自主制作映画
- ・宗門関係映画
- ・一般映画(教育教養・劇・アニメーション)
- ・人権教育映画
- ・ビデオテープ

二、貸出期間

- ・寺院、一般の場合は三日間
- (ただし発送・返送に要する期間を除く)

・宗務所・教区等で長期使用の場合はその期間を別に定めさせていただきます。

三、貸出料金

無料(ただし、発送・返送に要する料金は負担していただきます)。

四、申込方法

申請書類に必要事項を記入の上、お申込み下さい。

なお、正月・彼岸・新旧盆などは休務となりますのでお早めにご利用いたします。

申込先 〒105-8541 東京都港区芝

二一五一二

曹洞宗宗務庁教化部

フィルムライブラリー係

TEL ○三三四四一五四一五〇

○三三四四一五四一四〇

FAX ○三三四四一五四一三三

五、遵守事項

- ・貸出期間は、往復発送にかかると日数を除き二日間とします。
- ・使用後は宅配便にて至急お返し下さい。
- ・使用報告書は返送の際、必ず同封して下さい。

六、その他

- ・貸出中のため、ご要望に添えない場合もありますのでご了承ください。
- ・上記遵守事項に違反した場合、以後の貸出をお断りすることがあります。

※次頁へ「フィルムライブラリーカタログ」の一部を掲載いたしました。
詳細は本庁・教化部へお問い合わせ下さい。

◎環境ビデオ, フィルムライブラリー◎

| No. | 題 名 | 内 容 |
|-----|--|--|
| 1 | 地球SOS それいけコロリン PART 1 児童・青少年 (34分) | 「空き缶や空きビン、捨てる前にちょっと考えて！」 地球人に環境保護を訴えるためオアシス星からやって来たコロリン。友達江古ろじ太と共に、環境問題に取り組んでいく。「コロリン、オアシス星からやって来る」「うらみのハゲチャビタ!のコロリ」の2本立て。(16ミリ) |
| 2 | 地球SOS それいけコロリン PART 2 児童・青少年 (34分) | 「海や川が助けを呼んでいる」 コロリンの超能力で小さくなったろじ太たち。水の旅に出かけたが、海や川のあまりの汚れに驚く。「対決ヨドミ川のコロリ」「怒りのアカシオ!」の2本立て。(16ミリ) |
| 3 | 地球SOS それいけコロリン PART 3 児童・青少年 (34分) | 「空気が汚れると、みんな困るんだ」 テレビの懸賞で江古家に軽自動車が当たった。初ドライブに出かけた江古一家だが、街は渋滞で車がいっぱい。いらいらしたドライバーたちが……。雨降り仮面がやってきたのコロリ「自動車はコリゴリのコロリ」の2本立て。(16ミリ) |
| 4 | 愛華ちゃんの地球 児童・青少年 (33分) | 小学6年生の坪田愛華ちゃんが、学校の宿題で「自然と人間」というテーマにすばらしいマンガを書き上げました。それは新聞で紹介され大反響を呼び、国連から「グローバル500」という賞まで受けました。これは12才で亡くなった愛華ちゃんの短い人生と彼女のメッセージを描いたアニメーションです。(16ミリ) |
| 5 | 愛華ちゃんの 地球の秘密 総集編 児童・青少年・一般 (33分) | 12才という若さで亡くなった坪田愛華ちゃん。彼女が亡くなる直前に書き上げた環境マンガ『地球の秘密』をアニメーション化。環境保護を訴えるものとして内容も充実。小・中学生はもちろんのこと、青少年、一般まで広く受け入れられる作品です。(16ミリ) |
| 6 | 地球を救うのは君たち 児 童 (20分) | 世界各国で問題となっている環境破壊と汚染。それは私たち人間の日常生活に起因している。将来を担う子供たちに、私たち一人一人の環境を配慮した生活、責任ある行動がいかに大切であるかを、そして、子供たちにもできることを実際に示し、分かりやすく説明する。(16ミリ) |
| 7 | 美しい地球を よごさないで 児 童 (20分) | 1985年、イギリスで出版された同名の本をもとに制作された。世界の子供たちの環境保護への叫び声が込められている。東京に住んでいる少女はなは親戚のおじいさんが営んでいる山小屋へ。そこで繰り広げられる、不思議な体験を動画、アニメを交えて描き、自然環境の大切さを訴える。(16ミリ・ビデオ) |
| 8 | 環境教育シリーズ 全6巻 青少年・一般 (16分) | 「第2の自然環境・水田」「森は海の恋人」「山の中の大煙突」「新しい公害-産業型から都市の生活型へ」「江戸のリサイクルに学ぶ」「私たちのラムサール条約」の全6巻。(ビデオ) |

☆今話題のインターネットとは??

インターネットの世界を のぞいてみよう! (その2)

今回はインターネットで様々なサービスが受けられることを書きましたが、今回はインターネットが宗教に果たしている役割について少し考えたいと思います。

宗教団体の公式サイト（ホームページ）をいくつか覗いてみることにしましょう。

『天理教のページ』

ここは、表紙が英語表記となっており、そこからJapanese、English、Arabic、Chinese、French、German、Italian、Korean、Nepali、Portugueseの各言語を選択できるようになっています。世界中に積極的に情報を発信するという教団の姿勢が良く現れています。

実は、文字コードの関係で、日本語で書かれたページは外国語圏からアクセスすると妙な記号の羅列にしか見えません。その点で、言語の制約を乗り越えてネットワーク機能を十分に生かしているといえます。

内容で眼を引くのは「おぢば」の生中継です。いわばバーチャルリアリティーの「おぢばがえり」と言えます。データ過去数日一時間毎に蓄積されており、「おぢば」に特別な思い入れのある信者にとって果たす役割は大きいのではないのでしょうか。

『創価学会のページ』

ここも表紙ページは英語表記となっており、英語と日本語を選択できます。ここでは特に学会員の交流が盛んに行われています。掲示板をのぞいてみると連絡事や悩み相談、信仰についての意見交換がリアルタイムに行われています。毎日のように多数のメッセージが投稿されており、どれも熱気を感じ取れるほどエネルギー感溢れる内容です。教団・信者が一体となった活気溢れるページといえます。

『オウム真理教のページ』

週刊誌などでは、たびたび取り上げられてますが、キーワードを入力することによって簡単に検索できます。

教団公式のページは、検索サイトCSJ(<http://www.csj.co.jp>)を例にとると次の様に紹介されています。

「INTERNET オウム真理教97年の覚醒—いまだ解けないオウムの謎—オウム真理教唯一の公式サイトが、完全にリニューアルされて新登場! テーマは<97年の覚醒—いまだ解けないオウムの謎>。オウムとエヴァンゲリオンの秘密、アムロとコムロの謀略、公安情報も一挙暴露! 麻原尊師の歌声も惜しみなく大公開。さあ、輪廻をかけてアクセスするぞ!」

どうです。一度覗いてみたくなるような内容ではないでしょうか。

以上、教団の公式サイトのうち、インターネットの特性を生かし、積極的に利用していると思われるものをごく一部ですが掲載させて頂きました。これらの情報は、誰でも、いつでも、世界中どこからでも簡単に入手することができます。そこで開かれている会議室を覗いてみて、参加することによって興味本位から信仰へと変わることもあるかもしれません。

インターネットの特徴を挙げれば「世界を結ぶ」「手軽」「即時性」「双方向性」「幅広い情報発信」です。これらを有効に利用することによって、言葉による宗教の可能性・聖地への仮想巡拝・オンラインカウンセリング等々の新しい宗教行為が可能になろうとしています。

伝統仏教でも、浄土宗の青年会やハワイ寺院のネットワークのようにインターネットを活用している事例は徐々に増えてきていますが、やはり新宗教ほど教団と信者が一体となって積極的に取り組んでいる傾向にあるようです。

さて、海外では「禅」が一種のブームになっています。そして数多くの「ZEN」に関する情報がネット

ワークに蔓延しています。しかし残念ながらその殆どは日本からの情報ではありません。需要と供給のバランスが極端に崩れてしまっているのです。

非公式な情報が一人歩きしてしまう可能性も無いとはいええないでしょう。私たちも知らないでは済まされない状況になっているのではないのでしょうか。

まずは難しいなどと言わずに、インターネットの世界を覗いてみて様々な宗教へと訪問してみることをお勧めします。

そこからフィードバックできるノウハウも数多くあるでしょうし、逆にいろいろな問題も見えてくることと思います。それでは、以下インターネットの接続の仕方について書いていきます。

インターネットとは？

インターネットとは、世界の地域や使っているコンピュータの種類に係わらず共通のルールによって接続されたネットワークを総称したものです。もともとはネットワーク研究者の実験環境である ARPA ネットというごく小規模なインターネットが現在は地球規模のネットワークに発展しました。そこではネットワークの専門家だけでなく、さまざまな人々がネットワークを介して情報を交換しています。

インターネットで重要なことは、共通ルールに従った数値情報（デジタル化）で置き換えられているということで、文字はもちろん、画像、音声、動画など、すべては数値の羅列で表わされています。

なぜインターネットが他のメディアと比べて注目されるのかというと、様々な形式の情報を一括して取り扱う（マルチメディア能力）ことができるからです。同時にインターネットでは、いまだにネットワーク研究の途上であり、常に最新の技術を取り入れ、成長を続けるメディアであるといえます。

インターネットで何ができるのか？

世界中のコンピュータをネットワークで繋ぐことがインターネットで可能となっています。

また、自分の情報を世界に送る事もでき、特定の相手には、電子メールや会議といった場で情報の交換が可能となります。具体的にどんなことができるのか、次の表にまとめてみました。

| | |
|----------------------------|---|
| WWW (World Wide Wed) | 文字や画像の情報が見られるホームページを相互にリンク（関連事項へジャンプできる）させたもの。このことによって WWW の両面から世界中のホームページを見ることが可能となります。関連情報をたどっていったり、キーワードで検索したりすることもできます。リンクを辿っていくことをネットサーフィンといいます。 |
| 電子メール | ネットワークを通じて、特定の相手に文字や画像のファイルを送ることができます。送ったファイルはメールボックス（私書箱の様なもの）に送られ、受信者が好きな時に内容を確認できる。電子メールは手軽にすばやく情報を伝達する手段として急速に普及しています。 |
| Net News | インターネット上で分野別に設定された情報を分類、公開している電子掲示板のことです。ニュースグループと呼ばれる特定のテーマについて世界規模で意見の交換がなされています。各言語のグループがあり、もちろん日本語のニュースグループも多数開かれています。 |
| チャット・会議 | 同時に文字や音声、画像を相互にやり取りできる機能のことです。一対一ならば、テレビ電話、複数ならテレビ会議の様なものが可能になります。もちろん国の垣根はありませんから、世界を結んで会議を行うことも簡単にできます。 |

インターネットのために必要なもの

インターネットを始めるためには何が必要なのでしょう。最低限必要なものは次の様なものです。もちろんパソコンは最低限必要ですが、最近はワープロやテレビでインターネット機能を持つものも発売されて

います。しかし、機能制限のため電子メールで制約を受けたり、正常に見ることが出来ないホームページがあったりします。今のところはパソコンを使用するのが無難なようです。

最近のパソコンには、「オールインワン」とか、「マルチメディアパソコン」として、必要なものはすべて用意されているものもあります。

| | |
|-------------|---|
| パソコン | <p>ウインドウズ95のペンティアム（或いはそれに準じたもの）を搭載しているもの、マッキントッシュなら漢字Talk7.5.1以上あれば大丈夫です。ウインドウズかマッキントッシュどちらにするのかは、近くに利用している人が多いものを選ぶのが良いと思います。</p> <p>パソコンは予算と目的に応じてピンからキリまであります（10万～50万位まで）ので、インターネットだけに使うのか、それとも積家管理や会計、またはゲームに使うのかにより変わってきます。パソコンは生鮮食料品に喩えられ、半年経過すれば値段が半額になることも珍しくありません。</p> |
| モデム | <p>パソコンと電話回線を結ぶ機械です。通信速度28800以上ならば良いでしょう。パソコンに内蔵している場合もあり、その場合は改めて買う必要はありません。</p> <p>電話回線がISDNの場合、モデムは必要なく代わりにターミナルアダプタとDSUが必要になります。詳しくはNTTにお問い合わせしてみてください。通信速度が早いほど電話を繋いでいる時間を短くする（電話代を節約する）ことができます。</p> |
| 電線回線 | <p>普通の電話回線にかまいません。ただし、インターネットに繋いでいるときは、その電話回線は嘶中になります。</p> <p>ISDNにすると嘶中という問題は解決されます。2回線のアナログ（電話+FAX）とデジタル（インターネット用）が1回線で収容できますし通信速度が速いのが特徴です。電話番号も変わらないので、インターネットを始める場合はこちらのほうが良いかもしれません。詳細はNTTにお尋ね下さい。</p> |
| プロバイダユーザーID | <p>インターネットへ接続するにはプロバイダ（インターネット接続会社）と契約のうえIDをもらう必要があります。プロバイダ（接続会社）との契約については、接続場所（どこから繋ぐのか）、接続時間（どの程度利用するのか）によって選び、契約する事になります。プロバイダは何百社もあるので、よく検討することが必要です。プロバイダについては後程説明します。</p> <p>契約するとIDとパスワードが発行され、電子メールアドレスも同時に設定されます。</p> |
| ブラウザ | <p>ホームページ表示用ソフト。インターネットエクスプローラとネットスケープナビゲータが代表的なものです。これを使うことにより、数値情報が文字や画像、音声に変換され、結果として世界中の情報を見ることができるのです。</p> <p>大抵はパソコンに予め入っていると思います。たとえ無くても雑誌の付録として無料で手に入ります。</p> |
| 接続ツール | <p>ウインドウズには、インターネットセットアップウィザードとして、マックはMacTCPまたはTCP/IPとして予め入っています。設定の仕方はプロバイダから解説書が送られてくるはずですし、インターネットマガジン（インプレス社）等の雑誌にも掲載されています。</p> |

インターネットのしくみ

プロバイダとは

パソコンや電話回線、ソフトがそろってもこれだけでは接続できません。インターネットに繋がったネットワークコンピュータ（サーバー）に、自分のパソコンを接続する必要があります。

個人でもできますが、手続きが面倒で料金も安くないので普通は「プロバイダ」という接続会社に電話回線を通じて接続することになります。したがってプロバイダが市内にあれば、市内通話料金で世界のコン

コンピュータと接続できることになるのです。

プロバイダはどんな風にえらべばよいか

- (1) 自分の近く（市内通話範囲内）に接続地点があること。
これは、電話料金を節約するための必須条件です。
- (2) 自分に合った料金体系であること。（使い放題か、従量料金制か）
料金体系には様々な形があります。月にどの程度使うのかを多少大目に想定して検討すると良いと思います。
- (3) 繋がりがやすいこと。
ゴルフの会員権と同じで、回線容量に比べ会員が多いと遅くなったり嘔中で繋がらなくなります。インターネットを始めている人の意見を聞いてみるのが良いと思います。
- (4) ホームページを作りたい時は、自分のホームページをおくスペースが有るか。
自分でもホームページをつくって情報発信したい場合は検討しておく必要があります。

プロバイダはどう契約するのか？

| | |
|-------------|---|
| オンラインサインアップ | 秀 Term やハイパーターミナルなどを使ってプロバイダにコンピュータ接続して、対話方式でユーザー ID を獲得する。クレジット番号を入力することが前提の場合が多い。 |
| 電話 | プロバイダの専用窓口で電話を掛け、名前、住所、クレジット番号を伝えることで、折り返し FAX 等でユーザー ID が送られてくる。 |
| ファックス | 広告についている申し込み用紙や、電話で請求した用紙に記入して送信する。 |
| 郵便 | 電話等で申し込み用紙を請求する。時間は2～3日かかるが、最も確実で安心な方法。 |

尚、現在全曹青では PC-VAN（現在 BIGLOBE と名称変更）上で「ネット全曹青」なる宗侶専用のパソコン通信のネットワークを運用しています。PC-VAN に入会している場合はパソコン通信のみならず BIGLOBE をプロバイダとしてインターネットに接続することも可能です。ですから PC-VAN に入会している方は新たにプロバイダと契約する必要はありません。

また「ネット全曹青」にも入会したい方は BIGLOBE をプロバイダとしておすすめします。

近くにどんなプロバイダがあるのか知りたい場合は、月刊誌の「インターネットマガジン」（インプレス社）をお勧めします。千円程度の雑誌ですが、全国に散らばるプロバイダーの一覧と料金体系、問い合わせ先がまとめられています。

また、とりあえずホームページを覗いてみたいという場合には、NTT の営業所の体験コーナーや、インターネットカフェを時間ぎめで利用する方法もあります。一度どのようなものを体験してから機械等を購入してみるもの良い方法だと思います。不尽（次回は実際の接続の説明です）

スライムに使いやすい
本気にさせなせ。

マシ子メライアの NEC

PC-9801 V2.33/M7

NEC

- ◎MMX[®]テクノロジー Pentium[®] プロセッサ搭載^{※1}
- ◎3D アクセラレータ搭載^{※1} ◎CD-R 搭載^{※2}
- ◎TV 電話機能装備^{※2}

NEW VALUESTAR
バリュースター

PC-9801 V2.33/M7 標準価格 468,000 円 (税別) より
その他豊富なラインアップ 標準価格 268,000 円 (税別) より

※1: PC-9821 V16 を除く。 ※2: PC-9821 V200/M7 model H2、J2 のみ。
本パーソナルコンピュータは、オペレーティングシステムを標準搭載しています。画面はハメコミ合成です。
※ご使用の際は、必ず「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
NECグループ

謹賀新年

新年のご挨拶



全曹青会長 寿松木 宏 毅

おります。「大衆教化の接点を求めて」のスローガンのもと、今期執行部は「青年僧のあり方を見つめ、組織の意義を問い直していく」ことを目標にして事業展開を進めております。

平成十年（一九九八）の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。皆様の御清福を心より御祈念申し上げます。

このたび「曹青通信」新年号が昭和五十年に発行されて以来第百号と言ふ記念すべき時を迎えました。

「曹青通信」は全曹青活動と単位曹青活動を紹介する機関誌として重要な役割を担ってきました。数多くの先達のご苦勞とご支援を頂き今日まで歩んで来たのです。そのご尽力に心より敬意を表する次第です。

さて、今年度の事業としてこのあと禅文化学林と花まつりがひかえて

そこで二月六日大分県別府市におき禅文化学林としてパネルディスカッション「青年僧に望む」を再度開催することに決定いたしました。一般の方々の率直な意見に触れることで自分自身を見直す機会つまり、われわれが足元をみつめ、あらたな問題意識をもち、どう行動を起こしていくのか考え直す機会となればと思っております。加えてこの事業が全曹青と各曹青会員との距離を縮め、相互に力を結集し合える場になることを期待しております。そうした意味からこのたび九州管区曹青の皆様方のご理解とご協力を得られましたことを深く感謝申し上げます。また花まつりに関してはその時々

の目的もありますが、未来に向けて持続的なものを提示し具体化していくために、これまでの活動経過を踏まえ今回はより広い情報収集に時間をかけることとなりました。

全曹青の活動を一層ご理解いただくために年四回、全寺院へ「曹青通信」をお届け出来ることを目指し第二種郵便の認可を現在申請中であり、今後社会情勢に関することや環境問題などについても広範に取り上げながら、青年僧の英知と躍動的確にお伝えし内容の充実につとめていきたいと考えております。そして、今、青年僧として何ができるのか」という問いかけを自らの行として、今年も二十一世紀に向けて足元からの変革、（自分自身が平安に満ちた日常生活を創造していくこと）を念頭におき歩んでいきたいと思っております。本年も全国曹洞宗青年会への温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

—— 営業品目 ——

- ◎法衣創作から製造販売
- ◎法衣ドライクリーニングから修理
- ◎仏具製造販売から修理一切
- ◎仏具製造販売及びクリニック
- ◎各種御進物用品・記念品

法衣・仏具の草桶商店

〒616-8322 京都市右京区嵯峨野芝野町35（嵐山より徒歩15分）

TEL (075) 862-2345 FAX (075) 872-3992

フリーダイヤル 0120-88-3992

創刊百号に寄せて

宗務総長 乙川 良 英



一九九八年、平成十年の新春を迎え、会員はじめ読者の皆様のご多幸を、心より祈念申し上げます。また「曹青通信」が発刊一〇〇号を迎えたこと、心からお慶び申し上げます。

曹洞宗青年会は結成され二十年以上経過し、その間、青少年教化を柱に、青年僧侶の意識の高揚とその活性化に取り組んでこられました。

二十世紀もいよいよ最終盤を迎え、世相を見るとさまざまな問題が噴出して、世紀末の様相を呈しておりますが、宗門を俯瞰してみますと、実に多くの青年僧が、何かしらの教化活動に携わっています。それは、地道な坐禅会であったり、法話会であったり、またパソコン通信など、

現代的方法によるものであったりします。特に近年のボランティア活動は、社会から大きな注目を集めました。こうした活動が、新世紀の宗門の基となるのではないのでしょうか。今、推めている環境問題への取り組みも同様であり、一般社会の人々と共に、今後も歩んでまいりたいと存じます。

是非、曹洞宗青年会が、その推進役となり、一層躍進されるよう期待するものであります。



寺院用佛壇・佛壇・製造販売
曹洞宗梅花流法具販売指定店



ほう 光

| | | | |
|-------|---------|-----------------|----------------|
| 本店・工場 | 〒940 | 長岡市高畑町617番地 | ☎(0258)33-5644 |
| 新潟店 | 〒951 | 新潟市関屋大川1-11-2 | ☎(025)233-4493 |
| 川越店 | 〒350-11 | 川越市新宿町1-23-2 | ☎(0492)44-7741 |
| 高崎営業所 | 〒370 | 群馬県高崎市江木町1179-2 | ☎(0273)24-3721 |
| 長野営業所 | 〒380 | 長野県長野市稲葉1980-1 | ☎(026)222-3811 |

あいがたいと云う心
おかげさまと云う心
もったいなくと云う心

和顔堂に足らぬもの三つ



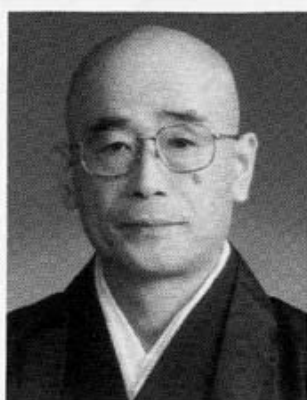
わげんどう
和顔愛語の 和顔堂

〒141-0031 東京都品川区西五反田5-7-4
☎ 03-3490-1061(代)
FAX. 03-3490-1061
☎ 0120-7676-00

◆ 営業品目 ◆
寺院専用各種記念品・慶弔用品・御布施用品・お供物品
その他寺院用品全般・結婚式引き出物・香典返し用品
企業及び商店PR用品・販売促進品・ギフト用品全般・名入れ・包装のし掛け

「他人の痛みを吾が痛みに」

全曹青初代会長 門 脇 允 元



「曹青通信」が百号を迎えるという。まさに、光陰は矢よりも速かなりを痛感せざるを得ません。

二十数年前「禪の集い」に情熱を燃やしていた頃、全国青年教化連合会の研修総会に出席の際、役員改選にあたり、それまで東北理事の岩手県の菊池祐光師から代ってほしいと懇望され、つい引き受けたところ理事会で理事長に推薦されました。内情を知らぬ一会員を待っていた諸問題と全曹青発足の要請であり、その裏には参議員選挙がからんでいて宗務庁指導型の会則まで用意されていたのです。

その頃の青年宗侶は対社会的責務にどう応えるかと、論争をしていた

のです。それはひとりの宗教人としての良心が強く働いていて、上からの押し付けに対する反撥はすさまじいものがあり、逆に、自主的な発足への諒解を引き出したのです。

その後「準備委員会」が結成され半年間の検討会を経て発起人総会は五百数十名の大会となり、折りしも国鉄のストの中を全国各地より馳せ参じた熱気はすさまじいものでした。「大衆教化の接点を求めて」このスローガンは、宗門が全国津々浦々まで浸透した原点でもあり、その精神を現代人として実践しようとの誓いでもあります。

爾来、後進の諸師方の活躍は眼を見張るものがあり、私の住む宮城県では、ボランティアと言えば「ソー トーシュー」とまで言われています。しかし、近年のわが国における社会現象は個人の心の問題を見過すことのできない状態に在ることに気が付かれています。昔かさら何か困り事が起きれば「和尚さんに」と言われてきました。果

して私たちの現職研修にしても、一人ひとりの悩みの深いところまで聴く訓練や知識を学んでいようか。

教育の現場に於いても先生の対応が問題になっているように、私たち僧侶も悩みを聴いてほしいと訴えてくる人に一方的に説教漬けにしたり、ズタズタに傷つけている人に「シツカリしろ、頑張れ！」などと喝を入れていた事例をよく聞きます。

かつて、良寛さんは甥の生活態度を改めてほしいと実家に呼ばれ、三日ばかり滞在中ひと言も説教せず、帰り際良寛さんのワラジの紐を結んでさしあげていた甥の手に良寛さんの涙がポタリと落ち、その甥は改心したという逸話が伝えられています。ひとは、一人ひとり心の深いところで多くの悩みを抱えています。

それは他人が白だ、黒だと決めつけられない難しい問題です。悩んでいる人と同じ立場に立てる最短距離に居るのが私達です。集団としての行動と個人としての行動が出来る私達の自覚を呼び覚ます心がけ、努力を今こそ為すべきではないでしょうか。じつに地味な目立たないことではあります。もはや遅すぎた感じがいたします。

ひとりの痛みを自らに引き受けるところが積り集まって、集団の行動となるのが本来の宗教家の姿勢ではないでしょうか。

そして、地域社会と密接にかかわりあって、行動していくことが大切なのではないでしょうか。

この問題は曹青各位への提言に止まらず全宗門人への提言であります。最近の報道である県の寺族の集會が大きく取り揚げられました。住職の方々が経歴にも名譽にも結びつかない、真の在り方を、再検討して頂きたいと望んで止みません。

あらためて、集団としての在り様と個人としての在り方を探る曹青会員への転身(心?)を求めて責を果たすことに変えさせて頂きます。

合掌



連載

利他行

三、 \wedge 他 \vee について

元駒沢女子短期大学教授 太田久紀

法相唯識には、教説を「影像門」と「縁起門」に分ける見方がある。

「影像門の唯識」とは、われわれが生死するこの現実世界は、われわれ自身が自分の認識力によって作りあげた \wedge 心 \vee の影像世界であり、したがってその世界は虚妄な幻想だとする見方である。「唯識無境」「三界唯心」などの語で示される。「三界唯心は「眼蔵」とは立場が異なる」

「縁起門の唯識」とは、その影像の世界は、どんな \wedge 心 \vee のどんな動きによって作られているかを明らかにする部門であり、「八識」「四分」などが説かれる。

われわれは、通常外界は見る通り

に存在していると単純に思っている。

それに対して「影像門の唯識」は、その外界は、実はわれわれの \wedge 心 \vee の所産であって、いうならば幻想世界であり、われわれの主観の投射された虚妄な影像にすぎないと言う。

たしかに悲しい時には世界中が灰色に見えるし、幸せな時には万物が輝いて見える。われわれは無意識裡に自分の心像風景を描き、それを実在する外界と錯覚している。

それに対して唯識は「蛇繩麻の譬」を説く。

暗い夜道に蛇がいた。驚いて思わず飛びのく。ほんとうは麻繩の切れ端が落ちていたに過ぎなかった。

びくびくしながら夜道を歩いていたので、麻繩の切れ端が蛇に見えたのである。蛇は自分の描いた虚像にすぎない。しかしその虚像に、人は飛びのいたり冷や汗をかいたりする。幻覚・幻想も人を動かすのである。

「縁起門の唯識」というのは、その幻覚・幻想世界は、どのように組み立てられているかを述べる部門である。「八識」(心理分析)、「四分」(認識の構造)などの教説は、心象風景を作りあげた \wedge 心 \vee の構造を詳細に分析したものだ。つまりその幻想世界は、われわれの \wedge 心 \vee が、相互に支えあう \wedge 縁起 \vee Ⅱ(出会い)であることを論じたものである。

「影像門」にしろ「縁起門」にしろ、唯識仏教が私どもに呼びかけてくる重要な問題の一つは、われわれを取り囲む現実世界は、非常に強く主観に依存した観念的世界だということである。

その現実世界は、自分の \wedge 心 \vee や諸縁の出会いによって作りあげられた縁起的幻想的世界である。それは当然われわれの認識力の範囲や限界に左右された有限な世界といわざるをえない。

人は、それぞれの身の丈相應の人生を生きているのである。

そこで問題になるのは、利他行の \wedge 他 \vee とは何かということである。

もしわれわれの住んでいる現実世界が、すべて唯識のいうように幻想

世界であるとしたならば、利他行の \wedge 他 \vee もまた幻覚・幻想ということになる。

もしそうだとすると、利他行とは、夢中に咲いた空華のように、観念上のあだ花にすぎぬことにならないか。

われわれは、どこまで \wedge 他 \vee を知っているであろうか。

平成九年七月、私は五十年來の親友を失った。哀しかった。

事情あつて彼は晩年の十数年、お寺の復興再建に全精力を注いだ。寺は見違えるほど明るく立派に蘇った。学生の頃からの純粋で不器用な彼からは、全く想像もつかないきらびやかな才能に目を見張るばかりであつた。彼は愚痴をこぼさなかつた。黙して語らない彼と、私は数十年つきあつていたのである。

「語らざれば憂いなきに似たり」で、黙して語らない隣人の何ほどを、われわれは知っているのであろうか。

そして \wedge 他 \vee が、どんな喜びや哀しみを抱いているかもろくに知らないので、利他行を實踐しているつもりになつていることがないだろうか。ひとりよがりの行動を押しつけて利他行と思ひ込んでいることはないか。

菩薩行の代表的徳目の一つに、

「同事」がある。「自にも不違なり、佗にも不違なり」(「修証義」と言われる通り、△他△と事を同じくすること、即ち△他△と一体となることである。しかしどこまで△他△を知っていることか。

ここで唯識がわれわれに呼びかけてくる一つは、自分の認識能力への不断の反省を忘れるなということであろう。それを忘れると、せっかくの△利他行△が独善的になったり、善行が驕りとなったりする。

善の行為には、思いがけぬ落とし穴があるもので、自分のしていることが善の行為だと思いと、自信が強まり、理解しない相手の方が悪いと思ふことさえある。驕慢である。

自己の認識力への真剣な省察を欠かしてはならないのである。

△利他行△は反省や理屈ではない。まず行動を起こすことだと言われるかもしれない。

それを承知のうえで、なお且つ△利他行△は△他△への省察を忘れてはならないと言わねばならない。

この認識力の限界を反省することは、もう一つ重要なことを語る。

それは△他△は、われわれの認識力の限界を超えて、そこに実在して

いるものだという事に開眼することである。

実は認識の限界を知ること、認識の対象はわれわれの認識の範囲や限界を超えてそこに厳然として実在していることを知ることではないであろうか。

自分の認識力は有限だということは、その背後には無限のものが在るということではないだろうか。手が届かないから、あるともないとも言えないが、しかしその限界の向うに△他△は厳然として存在している。

限界を自覚することは、その限界の彼方にその枠を超えた無限の実在を信じていることと同義である。

限界を知るといふことは、言葉を超えたその外に△他△が実在していることを語っている。

限界を自覚することは、実在に触れえないという絶望に陥ることだが、その絶望のなかで触れえない実在に触れると言えよいのだろうか。

紫外線や放射能は、われわれの眼には見えないが実在している。それと同様に、われわれには全貌は見えないが△他△は実在している。われわれが認識できるのは、そのなかのう部にすぎないのである。

即ち△利他行△とは、常に不断に

認識の範囲と限界を突破しつづけること。そのことを通してのみ真の△他△と出会うことができるということであるし、真剣な反省のみが△利他行△を真の△利他行△たらしめるということをわれわれに示していると言えるであろう。

自己の認識力への省察を忘れるとそのとたん△利他行△は崩れ去る。唯識はそれを語っているように思う。

△利他行△とは、難しい理屈や議論をすることではない。

有情・非情のすべての存在に、やさしい気持ちを持つこと。

ただそれだけである。だがそれが難しい。



経典・表装の製造から法要等の御贈答品のご用命は…

株式会社 タイキ

〒538 大阪市鶴見区今津中町3丁目9番地6号
TEL.06-969-7191(代) FAX.06-969-7194

禅文化学林

◎九州 大分にて開催!

◆テーマ：「青年僧に望む」 ●サブテーマ：「仏の命」(基調講演のテーマ)

◆主催、後援 ●主催：全国曹洞宗青年会、九州曹洞宗青年会
●後援：福岡・佐賀・長崎・熊本・宮崎・大分各県曹青会
九州管区教化センター

◆開催場所 ●〒874-0936 別府市中央町5-17 亀ノ井ホテル
TEL:0977-22-3301(代)

◆開催日程 ●2月5日(木) 午後4:00~午後5:30 全曹青委員会、
九曹理事会
午後6:30~午後8:30 交流会
●2月6日(金) 午前9:00~午前11:00 全曹・九曹懇談会
(パネラー打ち合わせ、シンポジウム準備、昼食)
午後12:30 受付
午後01:00 開会・基調講演
午後02:00 パネルディスカッション
午後04:30 閉会

◆講師 ●講師：8名(コーディネーターを含む)
基調講演：ひろ さちや氏
パネラー：①九州管区 瀧孝道統監老師 ②佐々木宏幹先生
③全曹会長 寿松木宏毅師 ④菊屋奈良氏
⑤瓜生田はるみ氏 ⑥田畑正久氏
⑦コーディネーター：南邦和氏

◆会費・参加費 ●シンポジウム参加費：1,000円
●交流会会費
①交流会+宿泊：17,000円 ②交流会：10,000円

◆締切り ●平成10年1月31日まで
※キャンセル：平成10年2月3日まで(期日厳守)
下記問合せ先のみにて受付

◆申込み方法 ●郵便番号、住所、寺院名、氏名、電話番号、所属曹青名を明記の上FAX、e-mail、郵送にて受付。

◆申込み・問合せ先
●〒871-0003 大分県中津市是則434 崇禅寺内「禅文化学林」係
TEL/FAX:0979-26-2077 e-mail:shigen@orange.ocn.ne.jp
●〒871-0091 大分県中津市角木457ノ2 安全寺内
「禅文化学林」係
TEL/FAX:0979-22-1787

昨年十二月一日・二日、本庁にて理事会・評議員会が行われた。そこで、平成九年度の全曹青の事業研修として、九州曹洞宗青年会との共催という形で禅文化学林を開催することが承認・決定された。

講師プロフィール

◆ひろ さちや氏 1936年生。大阪生まれ。

1960年、東京大学文学部印度哲学科卒業。同大学院博士過程修了、評論家。

- 宗派にとらわれず、「仏教」の思想をやさしく説く。著書も多く広く活躍中。「釈尊物語」(平凡社)「仏教のこぼれ・考え方」「日本人のための仏教入門」等。

◆佐々木 宏幹氏(ささきこうかん) 1930年生。宮城県生まれ。

駒澤大学を経て、東京都立大学大学院博士過程終了。駒澤大学教授・青山学院大学講師。曹洞宗現代教学研究センター第2部会(環境問題)研究員。

- 「人間と宗教のあいだ」「仏と霊の人類学」ほか。

◆菊屋 奈良義氏(きくやならよし) 1930年生。大分市在住。

工学博士：環境科学・計画建設学(個体群保全学)[横浜国立大学]
 (株)大分イカリテクノス社長、(社)大分野生生物研究センター副理事長

- 仕事から九州各地を回るうち度重なる自然破壊の様を目のあたりにし、自然保護活動を開始。同時に「頭デッカチ」の子供や母親に本当の自然を知ってもらうために、様々な観察会を組織したり、幾多の自然観察員を養成する。その精力的でユニークな活動ゆえに、「九州に菊屋あり」の声を生むに至る。

◆瓜生田 はるみ氏(うりゅうだはるみ) 1946年生。別府市在住。

大分県民生協理事、大分県子ども劇場連絡会代表。

- 早稲田大学文学部史学科卒業、東京都にて小学校教員歴5年。別府市に転居して以来、地域の社会問題や教育問題に取り組む。特に、現在の子供たちの置かれている状況に危機感を持ち、「子ども劇場」という組織と共に25年にわたり、活動を展開している。

◆田畑 正久氏(たばたまさひさ)

東国東地域広域国保総合病院院長、国東ビハラの会会長

- 大分県国東半島は「仏の里」と呼ばれている。この地において、「ビハラの会」を組織し、毎週病院内で仏教講座を開きターミナルケアという問題を医者から仏教の視点を持ってアプローチしている。

◆南 邦和氏(コーディネーター)(みなみくにかず) 1933年生。宮崎市在住。

日本ペンクラブ会員、日本エッセイストクラブ会員、日本現代詩人会会員

- 詩集「田陣パス」、「父夢」、「都市の記憶」、などのほか、放送対話集「宮崎1968～1972」詩文集「南国のパンセ」、評論集「ふるさとへの架橋」、マンガ郷土史「宮崎平野の歴史」(台本)などの著作がある。



運輸大臣登録旅行業第57号 (社)日本旅行業協会正会員

| | | |
|-----|-----------------------------|------------------------|
| 北九州 | 北九州市八幡西区黒崎3丁目16番4号 | 〒806 ☎(093)621-1738(代) |
| 福岡 | 福岡市博多区中呉服町2番1号(第3石橋ビル) | 〒812 ☎(092)271-2332(代) |
| 長崎 | 長崎市恵美須町2番3号(長崎フコク生命館) | 〒850 ☎(095)821-7508(代) |
| 大分 | 大分市都町1丁目2番1号(大分東邦生命ビル5F) | 〒870 ☎(0975)37-7373(代) |
| 熊本 | 熊本市水道町1番30号(第百生命熊本ビル1F) | 〒860 ☎(096)351-3344(代) |
| 宮崎 | 宮崎市高千穂通2丁目5番32号(日本生命宮崎駅前ビル) | 〒880 ☎(0985)27-6191(代) |

岩手県曹洞宗青年会

『聞いて分かる葬儀・回向集』 アンケートのお願い

アンケートの趣旨

「聞いて分かる葬儀・回向集」の編纂は檀信徒が法要の際に聞いて分かる、法要の意義を理解して参加できるようにとの試みから始まりました。この回向集は漢文体からの和訳文に慣れている方にとっては語感の上で非常に読みにくい点があることや荘厳さに欠ける等編纂中に様々なご意見等いただきました。回向集として出版し記念品として皆様にお読みいただくには未熟な点が多くあります。今までの回向集を百点とするならば私達の試みは0からの出発ともいえます。しかし岩曹青十二教区の代表により討論してきた中で私達はたくさんの方の学んできました。その研鑽してきた道程と和合が一番の収穫であります。そして敢えてこの回向集を記念品と致しましたのはもっと多くの方々のご意見を頂戴し更なる向上を目指したいからに他ありません。今後も教養セミナーや研修会を開催し長期に渡って行いたい考えです。今回の試みはその出帆の記念として、皆様から忌憚のないご意見等いただきました。敢えて出させていたいただきました。

今後も編纂委員会を継続させ、さらに編纂をし、改訂版としてよりから

上、そして百へと進んでいきたいと考えております。浅学非才も顧みずこのような回向集を出しました真意をおくみいただき、沢山の順風、逆風を当てて目的の港まで送って頂きたくお願い申し上げます。

◎設問

○一般のかたがたに法要の中身を
理解して頂くことは必要だと
思いますか。

・ぜひ必要
・少しは必要
・あまり必要でない
・まったく必要ない

○葬儀の戒文や偈文、回向文などは聞いて分かるようにした方がよいと思えますか。

・思う
・今そのままよい
・その他

○あなたはこの『聞いて分かる葬儀・回向集』を実際に使用してみたいですか。

・全面的に使用したい
・部分的に使用したいものがある。

・まったく使用するつもりはない。

・わからない
・その他

○この『聞いて分かる葬儀回向集』の中で、おかしな箇所、直したほうが良い箇所、自分だったらこうするといった箇所などがありましたら、ご指摘いただければ幸いです。

○その他、なんでも結構です。御意見やご感想などをお書きください。(左記へお送り下さい。)

岩手県陸前高田市米崎町字地竹
沢一八一

岩手県曹洞宗青年会会長
普門寺 熊谷光洋 行

※「回向本」は昨年十月二十一日「岩手大会」にて記念品として出版されたものである。後日岩手県内の各御寺院様にはこのようなアンケート及び返信の封筒が添えられました。全曹青では、葬儀の前半の回向文の御紹介のみをさせていただきます。封筒は同封できません。皆様の御意見・御感想などは、直接、岩手曹青会長へお送り下さい。

葬儀 (二十一ページから四十八ページ掲載)

剃髪

流転三界中 恩愛不能断

棄思入無為 真實報恩者

三界の流転する中にて、恩愛を断つこと能わず思を棄

てて無為に入る、真實の報恩なり。

剃除鬚髮 當願衆生 永離煩惱 究竟寂滅

頭鬚髮を剃り除く、當に願わくは衆生とともに永く煩

惱をはなれ、このうえなき安らぎを得んことを。

懺悔

夫れ新帰元〇〇靈位、仏の戒を受けんと欲せば、先ず

仏前において悔い改むるべし。釈迦如来の護り来りし

ところ、また歴代祖師の伝え来られし悔い改めの言葉

あり。

犯せし罪過悉く消滅するなり。吾が語に随つて之を唱

う可し。

我昔所造諸惡業 皆由無始貪瞋癡

從身口意之所生 一切我今皆懺悔

われ昔より造りし所の諸のつみとがはみな無始貪りと

瞋りと癡きによる。今ここに、三つのつみとがを悔い

改めて大いなる清らかな境地を得たり。

洒水

悲体戒雷震 慈意妙大雲

澍甘露法雨 滅除煩惱焰

悲の体なる戒は、雷の震うがごとく、慈みの意は妙な

る大雲のごとし。甘露の法雨を澍ぎて煩惱の焰を滅除

す。

已に身と口と意の三業を取り除き、仏と同じ大いに清

浄らかなることを得たり。これ即ち懺悔の力なり。

三歸戒

次に仏法僧の三宝に帰依し信仰し奉るべし。

三宝に三種の功德あり、所謂、一休三宝・現前三宝・

住持三宝これなり。一度、信じ帰依し奉る時、三種の

宝、悉く皆円成す

南無歸依仏 南無歸依法 南無歸依僧

歸依仏無上尊 歸依法離塵尊 歸依僧和合尊

歸依仏竟 歸依法竟 歸依僧竟

仏はこれ大いなる教への師なるが故に信じ歸依す。

法はこれ大いなる心の良薬なるが故に信じ歸依す。

僧はこれ勝れたる友なるが故に信じ歸依す。

今ここに仏法僧の三種の宝に歸依し信仰し竟わる。

既によこしまをすてて正しきに歸りおわる。今より以

後如来至真等正覚はこれ新歸元〇〇靈位が教への師な

り。更に他の邪なる道を歩むことなかれ。

三聚淨戒

次に三種の淨き戒を受るべし。

第一 攝律儀戒

清淨なる心をもって一切の不善をなさざることを誓

い奉るべし。

第二 攝善法戒

清淨なる心をもって一切の善き行いに励まんことを

誓い奉るべし。

第三 攝衆生戒

清淨なる心をもって一切の衆生を救はんことを誓い

奉るべし。

以上、三支の誓願をおこし、心から誓い奉るべし。

十重禁戒

次には応に十重禁戒を受け奉るべし

第一不殺生戒 すべての生命を大切にすべし。

第二不偷盜戒 盗みや不正を犯すことなかるべし。

第三不貪(邪)淫戒 道ならざる愛欲を犯すことなかるべし。

第四不妄語戒 いつわりの言葉を口にする事なかるべし。

第五不酤酒戒 迷いの酒に溺れることなかるべし。

第六不説過戒 他人のあやまちを言いふらすことなかるべし。

第七不自讚毀他戒 己を誇り、他人の悪口をいうこと

を

を

を

なかるべし。
第八不慳法財戒 物でも心でも施すことを惜しむこと

なかるべし。

第九不瞋恚戒 瞋りに燃えて自らを失うことなかるべし。

し。

第十不謗三宝戒 仏法僧の三宝を謗り、不信の念をお

こすことなかるべし。

上来、三帰・三聚淨戒・十重禁戒、これは是れ諸仏・

諸菩薩が護り持ちたまう所、歴代祖師の伝え来たもう

所なり。

われ今、汝に授く。汝、御仏の弟子として必ず持ち奉

るべし。

血脈授与

此れは是れ、仏祖正伝菩薩大戒の血脈なり。血脈とい

うは、御仏の弟子としての証しなり。釈迦牟尼仏には

じまり、仏より仏へ、祖師から祖師へと余すことなく、

欠けることなく正しく伝わりきたる菩薩大戒を授けた
るしるしなり。

この血脈は釈迦牟尼仏より二十八世・中国に伝えし菩

提達磨大師、五十一世・日本に伝えし大本山永平寺開

山道元禪師、五十四世・世に広めし大本山總持寺開山

瑩山禪師、そして、○○世○○寺○○代○○○大和

尚を経て我にいたれり。

我いま、新帰元○○靈位に授く。汝その身、そのまま

が仏の弟子と心得て、血脈を護持し奉るべし。

もろもろの衆生、十六条の仏戒を受けければ、釈迦牟尼

仏と等しき大いなるさとり位の位に入る。

これぞ、まことに御仏の弟子なり。

南無大慈大悲哀愍授受 南無大慈大悲哀愍授受

南無大慈大悲哀愍授受

(紙面の都合により回向本全てを掲載できませんので御
了承下さい。)

※お問い合わせは、岩手曹青へ直接、御連絡下さい。P
十八参照。

近連協主催

登山の集い「白山拝登」

白山水を求めて

近畿曹洞宗青年会連絡協議会会長 平澤祥秀
 参学の集い白山拝登実行委員長 掃部克重

平成九年九月四・五日実施・参加六十二名。白山は富士山・立山と共に日本三霊山の一つでその拝登の歴史は古く、七一七年越前の僧泰澄が霊験を得たのが始まりと伝えられている。白山信仰と曹洞宗とは深い関係があるが、永平寺等に安居した人以外には拝登の機会は殆どなく、また二千七百二mという高峰のわりには危険も少なく登れるということもあって、青年のうちにもみ出来る価値ある体験をしようと、近連協主催で京都曹洞宗創立三十五周年記念行事も兼ね、「白山拝登」を企画開催した。今回の計画では、登山開始が午後で室堂到着予定が夕方になり、もし天候その他の事情で遅れた場合も想定して十分な装備をしておく事。多人数での登山であるため、十名程度の班に分け全体責任者と各班の班



長はそれぞれトランシーバーで常に連絡を取りながら行動し、問題が生じてもすぐに対処できるようにしておく事。さらに事故やケガ人・急病人が出た場合等の緊急の事態に備なえ本部を麓の白峰温泉に置き、地元在所轄警察署には登山計画書と参加者名簿を提出しておく事等の準備対策をして拝登に臨んだ。九月四日、心配された天気にも恵まれ、予定通りバスは京都駅を七時に出発。十二時頃別当出合の白山登山口に到着。参加総数は各曹洞宗関係者と一般参加者六名、BS添乗員、自然観察員三名を合わせて六十二名となった。うち五名は本部として白峰温泉に待機。五班に分かれ自然観察員の先導にて砂防新道より登山開始。甚の助避難小屋・黒ボコ岩・弥陀ヶ原を経て約五時間で室堂平に到着。途中では長く苦しい登山も目的地まで着くと短く思え

技の粹

御法衣、御袈裟、御仏具、
 荘嚴具、記念品

谷口法衣仏具店ならではの…



株式 両大本山御用達 曹洞宗専門
 会社 谷口法衣佛具店

〒606 京都市下京区高辻通越屋町東入
 電話 京都075(351)9741(代)
 FAX 京都075(351)9692
 梅花講御指定販売店

て、心地よい疲労感が体中に溢れた。疲労が激しかったり足や腰などに故障が出て本隊についていけないとなった人達は数名の介助者が付いてグループを作り後から登っていたが、全員が日没までに到着。記念写真を撮り社殿の前でご挨拶並びに登山の無事の御礼と下山の無事を祈願して読経。雲海を真赤に染めて沈む夕陽、一つ一つがとても大きく輝く満天の星、雲海の彼方アルプスの峰の間から昇り来る神々しい見事な御来光等、素晴らしく感動的な景色に出会うことが出来た。九月五日、八時三十分、アルプス展望コースを下山開始。左手にアルプスの山々を眺めながら南竜山荘を通り砂防新道に合流し、約四時間で別当出合に着いた。遅れたグループも全員無事に下山し、白峰温泉にて汗を洗い流し昼食。白山本地堂を自由拝観し解散。バスは予定通り七時に京都駅に着いた。今回の「白山拝登」は強行日程であったにもかかわらず、多くの参加を得、好天に恵まれ素晴らしい景色に出会え、全員が無事拝登下することが出来、盛会裡に終了した。仏天の御加護と参加者各位の御精進に深く感謝いたしております。

曹洞宗専門
法衣・仏具
梅花流法具

衣。

株式会社 細野福藏商店

〒604 京都市中央区高倉通御池南入
TEL 075 (221) 1455(代) FAX 075-221-7811
フリーダイヤル 0120-1455-07

寺院用品・法衣・袈裟・金襴・諸經典発行・佛壇・佛具
総合仏具店

中 居 堂

〒980 仙台市青葉区国分町3丁目10番32号
代表電話/仙台022 (225) 4495番
FAX専用/仙台022 (225) 4490番

墓石工事全般・環境石材
造庭園施工・土木工事業



泉
石の石良

株式
会社

泉山石材

〒031 青森県八戸市是川坊坂1-2
代表 (0178) 96-1414
FAX (0178) 96-5716

曹洞宗婦人会中央研修会

全曹青から寿松木会長出席

「横のつながり」の大切さを実感!!

全曹青会長 寿松木 宏 毅

平成九年十一月五日より七日まで宗務庁において曹洞宗婦人会中央研修会が開催され、「曹洞宗婦人会の今後について」パネルディスカッションが行われた。曹洞宗婦人会は昭和五十年に設立され、現在六万人の会員を擁し、「ひろげよう 信じよう 美しい心のふれあい」をスローガンに、環境問題を中心に取り組んでおられる。

当日のパネリストには駒澤大学の佐々木宏幹先生、婦人会元会長の今井梨香様、宮田よしみ様、上野多加衣様、顧問の小田原恭子様、現会長の伊藤美津世様そして全曹青からは寿松木が出席し、コーディネーターは本庁教化部の深澤信善課長が務められた。

はじめに深澤課長より婦人会の設立に至るまでの過程が説明され、その後「婦人会の歩み」として各歴代会長様方の取り組みと活動の様子が述べられた。

全曹青に関しては事業内容と現況を報告し、とくに仏前結婚式の活動と阪神大震災以降の支援経過について報告した。最後に佐々木先生より現在の婦人会の状況、ならびに環境と心の問題についてのお話があった。質疑応答では仏前結婚式に関して具体的な内容に踏み込んだ質問がなされた。いずれの質問も全曹青のなかで問題視されている部分であった。

このたび、こうした研修会に参加させていただき、時代への対応のためには幅広い視野をもつことと同時に、各組織の「横のつながり」が必須の条件であることを実感した。今、婦人会も青年会もお互いが未来への道を模索している時である。大切なことは私たちが地域社会や自然環境とのかかわり合いの中で「自分に仲間として何ができるのか」を考え、実践を通じて具体化していく姿勢であるとあらためて認識させられた。



寺院向け管理プログラム
しゃじくん開発中!
for Windows
(来春発売予定)

※ 詳細については
お問い合わせ下さい

山門・鐘楼堂の設計・施工
釋製寺院仏具の製作・販売

株式会社

しゃじ企画

☎0188-65-6077

〒010 秋田市山王臨海町3-37

FAX0188-64-1093



祝!! 第百号

（株）東武トラベル営業企画部 中 根 敏 次

◎曹洞宗ファンづくり拡大のため、大衆をそして若者を仲間意識で増やせますよう、ご活躍、活動下さいますようお願い申し上げます。

行持および専門用語の大衆化

平素の様々な活動、本当にご苦労様です。

ご宗門の行持や運動、さらに研修、加えて地域およびご自坊等々どれを執つても手抜きのない、緊張の連続の中、勤行なざる姿を拝見いたしておりますと、真に尊いものと頭の下る思いでございます。

四季折々の活動も皆での内容に較べ複雑且つ多様になってきてるものと存じますが、ベストを尽した対応を引続きお願い申し上げます。

十三世紀に誕生した歴史と伝統ある宗門に敢えて苦言、と申しあげるよりお願いとして、「カタチを第一に優先される行持、所作、文章等を在家、一般大衆にもつと解りやすくして戴けないものでしょうか」……。

折角頂戴した立派な諸行持の差定

記念号によせて

株式会社 安藤

代表取締役 安藤宇助

二十年という永きに亘り、全国曹洞宗青年会の活動を発信されてこられました曹青通信が、記念すべき白号を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。

曹青通信の紙面で各委員会の活動を拝見致しておりますと、いずれの委員会も着眼点が斬新で、行動はエネルギーギッシュで、目標はあくまでも高く、成果を拙速に求められることなく、目的達成のために地道な努力を重ねておられるのは、青年僧侶でおられる皆様の会ならではのことで存じます。

この度の阪神淡路大震災や、日本海重油流出事故などの大災害に對しましても、いち早く対応され、社会のニーズに應える活動をされたことは、伝統教団の青年会の模範となるものだと感じております。

百号の記念誌を新たなるスタートとして、今後も貴会が大衆教化に勤められ、教団の一般社会への影響力を更に深めるための原動力となつてご活躍されんことを、ご期待申し上げます。



合掌

〈梅花流法具指定販売店〉

法衣・袈裟・打敷・寺院荘嚴具・京仏壇・京仏具



株式会社 安藤

〒605 京都市東山区古門前通花見小路東入ル

本社
法衣部 ☎ 0120-29-8161番(代)
仏具部 ☎ 0120-29-8165番(代)
贈答品部 ☎ 0120-19-8168番(代)
FAX (075) 525-2070番

東京店 〒105 東京都港区芝2丁目15番2号

福岡店 〒812 福岡市博多区上呉服町12-7
☎ 0120-2143-22番(代)
FAX (092) 291-2144番

全曹青の コラム

ビハラーって何？

秋田ビハラの会代表 袴田俊英
僧侶が病院へ法服で行くのは中々

Vihara - since 1992
VIHARA ビハラー

〒018-32 秋田県山本郡藤里町大沢 月宗寺 内
ビハラー代表 袴田俊英
Tel.Fax : 0185-79-2468

家庭で介護できないお年寄りが入所している。
法服のままで行ったらさぞ驚くだ

難しい。ことに秋田ではそう感じる。そんななかで、どうぞ法服のまま来て下さいという施設と巡り合った。そこは老人保健施設で、痴呆やろうと思っていたら、誰も驚いた様子がなく返ってこちらが拝まれてしまった。一度この施設でお経のテープを流したとき、それまで徘徊していたお年寄りが黙って耳を傾けたことがあったという。法話の会では始まりにお経を読んでいる。誰もいやな顔をしない。手を合わせじつと聞いている。法話の後、質問の時間を設けているが、一番心配なのは仏壇やお墓をみてくれる人がいないので先祖の供養ができないことだという心配いりません、ここで手を合わせ御供養しましょう、と言うとほっとした表情になる。



僧侶は死者を祭る特別な力を持っている、だから有難い。この素朴な僧侶への思いを無視して「本来の仏教は」と大上段に構えると大事なものを失うのかも知れない。

編集後記



新年明けましておめでとうございます。第百号に対しましては、宗務総長老師、門脇老師、中根氏より御協力いただき、誠に有難く、御礼申し上げます。「第三種郵便」を想定した構成ですので今後、「曹青通信」「そうせい」をこのような形にして参りたいと考えております。第九十九号で多くの方々から御賛同いただきました。第百号は全御寺院発送であります。広く御意見等を御寄せ下さい。宜しく御願ひ申し上げます。
☆FAX〇一九四一六六二一八一
広報委員長 東井千明へ
本年もどうぞ宜しく皆様の御協力をお願い致します。
☆表紙写真は岩手、中里光男氏提供

発行所

全国曹洞宗青年会

〒105-0014 東京都港区芝2-5-2 曹洞宗宗務庁内

発行責任者 寿松木 宏 毅 編集責任者 東井 千 明

T E L 03-3454-5411 定価100円

郵便振替 00110-1-130539

全国曹洞宗青年会



発行所
 全国曹洞宗青年会
 〒105 東京都港区芝2-5-2
 曹洞宗宗務庁内
 発行責任者 寿松本宏毅
 編集責任者 東井千明
 TEL 03-3454-5411

第二回評議委員会開催

昨年、十二月一・二日、第三回理事會・第二回評議委員会が宗務庁五階研修道場にて開催された。

一日午後三時より、九管区各曹青理事のうち、五名の出席を得て理事會が行われた。翌日の評議委員会に因る数々の執行部案が時間をかけてじっくりと審議され、まとまった。

またその後、第十三期会長選挙委員会が発足され、次期会長選挙に向けて動き始めた。

二日評議委員会は午前十時より四十九加盟単位曹青中二十二人の評議委員の出席と十二通の委任状を得て行われた。そして長い問題案であった会費見直しの問題や、禅文化学林事業、花まつり事業等が討議され、また各委員会の活動経過内容等が報

告された。午前・午後の長時間に渡って活発な議論がなされ、以下の案件で決議がされた。

(以下内容報告)

○洞外教化部長老師で挨拶

評議委員会に先だって洞外教化部長老師より、現在宗門が進めているグリーンプランについて、このプランの発足から今までの経緯そして現在抱えている諸問題、これからの課題と期待についてのお話があった。

「地球環境の変化による自然界の変化が実際に今起こりつつあることを踏まえ、地域によって違う環境にどう宗侶として対応していくかを考え、檀信徒とひざをつきあわせて、

普段布教していることと同じようにお釈迦様の教えにたつて自然との共生とすることを教化してもらいたい。無関心では無く個から動いて、それが青年会、教区、宗務所、宗門を動かすようになってもらいたい。」と、青年僧への期待と厳しい熱意のこもったお言葉を頂いた。

○会長挨拶

「今年度の花まつり、禅文化学林事業を開催していく上で、全曹青は決して単位曹青の上の立場にたつて活動をしているのではない。あくまでも協調性を大切に臨んで行きたいと思う。無関心から関心を持って頂く為の働きかけとして、こちらから出向いて話し合いの場を設けて行きたい。」とのあいさつがあり、続いて福島曹青の斉藤崇淳師が議長に、京都曹青の平澤祥秀師が副議長に選出され議事が進められた。

○「禅文化学林」

九州曹青(大分県)にて

開催決定

今期の禅文化学林事業は、各単位曹青及び曹青会員と協調を図り、相

互理解と連携意識を深めたいという目的から、管区曹青と共催の方向で検討されてきた。九管区各曹青にアンケートを行った結果、今年度は九州管区曹青のご理解とご協力で大分県において開催することになった。総合企画委員長より、九州曹青との協議案、並びに執行部案が述べられ質疑が重ねられた結果、可決した。尚、各単位曹青には広報のみとし、参加は自由とする。

(「そうせい」記載参照)

○第四号記念号について

曹青通信が今回第百号となり、宗務総長老師、全曹青初代会長からの激励の原稿を頂戴しました。

本来であれば、巻頭ページ等へ掲載させていただくべきところですが、「そうせい」は、「第三種郵便」を想定した構成となっておりますので一般記事の後に掲載させていただきましたことを御了承下さい。

執行部試案

1. 会員数によって会費を決める。

| 会員数 | 団体数 | 金額 |
|---------|-----|------------|
| 1～50 | 21 | 20,000円 |
| 51～100 | 21 | 30,000円 |
| 101～150 | 4 | 40,000円 |
| 151～ | 3 | 50,000円 |
| 合計 | 49 | 1,360,000円 |

2. 単位曹青会員1名につき500円

500円×3,000名 1,500,000円

3. 単位曹青各団体30,000円に値上げ

30,000円×49 1,470,000円

4. 一団体10,000円+会員1名につき

A: 10,000円×49 490,000円
 +200円×3,000名 1,090,000円
 B: 10,000円×49 490,000円
 +300円×3,000名 1,390,000円

「会費の見直し」について決定

第十期執行部の時より長きに渡って会費見直しの件については討議されてきた。全曹青の予算全体に占める会費割合は、活動を展開していく上で非常に心もとない数字となつて計上されている。いくらかでも自己資金の充実を図りたいとしてこれまでの執行部も会費値上げの方向で評議委員会・総会等で議論を重ねてきたが結論には至らず持ち越しとなつてきた。前回の総会で評議委員は各単位曹青にこの件を持ち帰って話し合つて頂く、また執行部はより具体的な試案を作成し、次回の評議委員会で話し合うと云うことで結論をみた。そこで執行部は四つの試案(値

上げる場合の方法)に絞り、今回の評議委員会に提出した。

(試案は左記の通り)

これらの試案をもとに、評議委員会で慎重に、特に長時間に渡って討議がなされ、最後に「会費値上げ」が決議され、方法として試案の二を採用し、実施の方向で結論をみた。

加盟各単位曹青会員数

×五百円を会費とする。

但し予算案作成の時点(前年度会員数)の会員数をもつて算出し会費とする。

尚、この決定に伴って会則の変更が必要になってくる。この件に関しては次回の評議委員会・総会の場で討議、決定することでままとまった。

「花まつりキャンペーン」事業

花まつりは、慶事の仏教行事として仏教のイメージアップを図るために「しあわせの日」として始められた事業である。これまでのキャンペーン事業を振り返り、さらにこれからのあり方について、何度も話し合われてきた。今回はまずイベントの事業は見送り、足元から地道に進めていくということで、各単位曹青等で行われている花まつり事業の情報収集及び提供に努める事とし、一方では「花まつりとは」と言う基本的な部分から再度じっくり話し合い、宗門で推進しているグリーンプランも踏まえた上で今後の全曹青にとって確実なかつ継続の可能な事業として確立するVことを目的とした花まつりキャンペーンのあり方を検討していく方向で結論を見た。

今回は、東京都東村山市にあるハルセン氏病記念館「全生園」を訪問、事業を展開する事も承認された。

各委員会報告

◇広報委員会

第三種郵便認可取得についての経過説明 (四頁六頁参照)

◇青少年教化研究委員会

昨年の十一月、日本ブライダル協会主催のセミナーに出席し前年度に制作した仏前結婚式のプロモーションビデオの上映と説明を行った旨の報告が行われた。

このプロモーションビデオに関して、「アピール度がたりないのではないか」という意見がだされたが、現状の式場での結婚式のあり方を踏まえた上で、時間的には二十分位を基準とし、また最低限の仏具、人数で行うことが要求される事など、あくまで現場の要請にもとづいて考え作成されたものである点が説明された。

ビデオを参考に前向きな取り組みが望まれる。

また、青少年教化活動に関し、各地区で任命されている青少年教化委員との連携をとって横のつながりを深めていくべきという意見があり、今後さらに関係機械と連絡の上善処する方向で行動する事となった。

◆授戒会研究委員会

昨年より継続されている室内作法ビデオの作成経過について説明があり、都合上今年度中に完成する旨の報告があった。

◆ボランティア研究委員会

ボランティア連絡網を整備推進する中で、まだ充分な体制が出来ていないので早急に整備に取り組んでいくとの説明があった。

◆パソコン通信研究委員会

各委員会または各単位曹青等から幅広く情報を収集し、その都度に全曹青ホームページを更新して掲載している。ちなみに、十一月現在五千五百七十件のアクセスがある。

今後、ネット全曹青において檀家管理、仏教語漢字辞書データを作成し、皆様に提供したいと考えている。

情報通信

・全日本仏教青年会報告

十一月二十一日開催された理事会において、昭和六十三年に東大寺で行われた千僧法要についての説明があり、当時は全曹青が中心になり、南都二六会の方々の協力を賜り実施

第十二期会長選考委員会発足

理事会において第十三期会長選挙に向けて選考委員会が発足し、会則に基づき全曹青理事と現会長が委員に就任、委員長と副委員長が選出された。

委員長 木内邦彦師（北海道管区理事）

副委員長 保坂康雄師（東北管区理事）

次期会長の公募期間は二月一日より末日まで、所定の用紙に記入の上、選考委員長宛送付の事。

（詳細は七・八頁参照）

された経緯が報告された。平成十年五月二十六日午後一時より十周年の記念法要が再び東大寺で行われる。過去の経緯から全曹青への協力依頼があり、出来るだけ協力する方向で行動して行くこととまとまった。

・大遠忌について

ウォークラリーに関して、全曹青としての協力は現状では無理との判断から参画は辞退させていただいたことが報告された。遠忌事務局としては個別に単位曹青と連絡しあいながら実現していくとのこと。全曹青が大遠忌にどう関わって行くかは現在のところ白紙の状態であるが、今後遠忌事務局と連絡を取りながら対応していくという事務局からの方針が了解された。

・阪神淡路大震災被災者追悼法要

今年度も神戸市長田、御蔵地区よりの要請を受けて、一月十七日全曹青執行部と兵庫第二曹青とが主体となつて追悼法要を行うことになった。

●仏前結婚式

委員会報告に記載したようにブライダル協会のセミナーにおいて紹介した結果、早速都内の結婚式場より問い合わせがあり、話し合いを持った。「年間を通して仏前での結婚式を希望されるカップルは数組あるものの式場としては対応出来なかつた」とのこと。今後はお互いに前向きに取り組んで行くことを確認した。

●サンワみどりの基金について

本庁教化部より、環境保全活動を二十六年間に渡って展開しているサンワみどりの基金の紹介があった。この団体は主に植樹を中心とした活動をを行い、更に木のお医者さん「樹木医」の派遣なども行っているという。講演会や禅の集いなどの事業に、是非御活用して下さいとのこと。詳しくは全曹青事務局までご連絡ください。（同封の「そうせい」参照）

事務局より

評議委員会は回を重ねるごとに非常に活発な、そして厳しいご意見を頂戴するようになりました。誠に有り難いことです。出来れば会議において述べられたご意見をすべて掲載したいと思っておりますが、紙面の都合上、割愛させて頂かざるを得ませんでした。深くお詫び申し上げます。これらの討議・議決された事柄に執行部一丸となつて取り組んで行く所存でございます。

皆様にとりまして本年がよい年でありますように祈念致し、更に今後とも全曹青へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

合掌

広報委員会

第三種郵便物認可を検討中

年四回でも取得可能

昨年十二月に発行した「曹青通信」第九十九号にて、現在の曹青通信を第三種郵便物として、申請してはどうか？という点。また、詳細について検討した関連事項等をお知らせいたしました。これは、発送費等の経費節約を考慮したものであり、広報予算を十分に有効に使わせていただくためのものであります。

第九十九号は、曹青の正会員と賛助していただいた賛助会員の皆様方へお送りしたものであり、その総数は、全国に三千八百余であります。

そこで此度本第百号を編集し、重複するところではありますが、全国の宗門全御寺院様(約一万三千ヶ寺)へ「第三種郵便」についての曹青通信の内容をお知らせしたいと思っております。そして更に私たち、全曹青の活動を御理解いただきたく、今回第百号に同封させていただきます、お届

けいたしました次第であります。

何卒、宗門各御寺院様の御理解と今後の御協力を宜しく御願ひ申し上げます。

◇ ◇ ◇

郵政局からの通達により、平成九年七月より、年四回の発行物でも第三種郵便の認可が取れるようになった。今までは毎月の発行物や、年十二回以上の発行物でなければ認められなかったのである。

現在、曹青通信は年四回発行であるが認可を受ければ、第三種郵便物取り扱いとなり、広報の年間予算の半分以上を占めていた切手代(一通一九〇円→昨年十二月一日より一四〇円に改正)を大幅に削減できるのである。また、現行予算内で年四回全国寺院へ配送可能となり、青年僧侶の活動を広くアピールすることができるのである。

毎月各寺院に配布されている宗報も第三種郵便の認可を受けており、各寺院では、宗費のなかでこれを購入していることとなっている。また、様々な規定(名称・構成等)があり、いくらかの定価等を付けることも義務付けられている。

年四回の「曹青通信」などは、様々な規制緩和に伴い本年から認可されるようになったのであるが、まずそのためには先に挙げた色々の様式の変更・指示に従わなければならない。(詳しくは五・六ページ参照)

これからのことについて本庁の担当課長老師・部長老師にご相談したところ、経費節約であり、曹青通信の第三種認可の申請への方向で検討すべき、というご意見をいただいた。

☆現在、切手代(一九〇円の十三%割引)

- ・ 曹青通信・年四回発行は、二回
- ・ 全国御寺院へ
- ・ 正会員・賛助会員へ 二回

第三種となると

☆切手代(六十数円となる)

現行予算(八〇〇万円)以内で曹青通信・年四回発行は全国御寺院へ四回発送可能。

確認のハガキを

受け取った人は

必ず返送して下さい。

郵政省へ購読者(曹青会員・賛助会員の皆様の中から)の名簿四〇〇人分位を提出することが義務となっております。そして、郵政局からその名簿からランダムに何人かの人に確認のハガキが送られるそうです。これは「曹青通信」を購読していませんか？という確認のためのハガキです。

もし、そのような確認のハガキをいただいた方は忘れずに返送していただきたいと思っておりますので宜しく御願ひ申し上げます。

返送のハガキの数の割合が極端に少ない場合は読者が少なく、購読されていないと見なされてしまいます。そして、第三種の認可がおりないということもあります。

実際に第三種の申請をするのは平成十年の四月以降ですが、皆々様にはその節には、何卒宜しく御協力下さい。

☆次の申請書を提出しなければなりません。

第三種郵便物認可申請書

平成 年 月 日

郵政局長 殿

申請者 住所又は居所
氏 名 ㊟

郵便規則第24条第1項の規定により、定期刊行物の認可を受けた
ので、申請します。

- 1 題号
- 2 掲載事項の種類
- 3 発行人
- 4 発行の定日
- 5 1回当たりの発行部数
- 6 1回当たりの発行部数に占める発売部数
- 7 刊行物の体裁
- 8 発行人の住所又は居所
- 9 発行所の名称及び所在地
- 10 定期刊行物提出局
- 11 5及び6の欄の記載事項を証明する資料

1. 題号とは名称のこと
「曹青通信」では、認可がむ
ずかしい。
2. 文化的・公共性をもつ報道が
必要



☆曹青会員だけではなく広く講読
者が存在するということから
“曹青通信”という限定的名称
を避けなければならないのであ
る。また、記事は、公共的な環
境問題等を取り上げるスペース
が必要となる。

このような申請書を提出しなけれ
ばならない。それにともない、「曹
青通信」というネーミングの変更。
記事の構成。定価を付けること。購
読者の名簿などをその際、体裁を整
えて？（認可を取得できるように）
提出しなければならぬのである。

「ネーミングの変更」については、
諸先輩方が、代々愛着を持ち、深い
思いがある「曹青通信」であり、名
称変更については、様々ご意見があ
ると思われるので広く皆様の声をお
伺い致したいと思えます。

「ネーミングの（前回公募）変
更・記事の構成」については、第三
種を取る場合、この新聞が曹青会員
などある特定の人や特定の団体、グ
ループだけの通信文書と見なされな
いようにするためである。それに、
内容・記事も公に共通するもの。万
人共通の話題、たとえば「環境問
題」など普遍的な情報を取り上げる
スペースを三、四ページ確保し、
表・裏表紙、目次を設け体裁を整え
る必要があるということである。そ
れと「定価を付けること」も、つま
りは、第三者の広く人々が購読して
いるという裏付が必要なのである。

以上をクリアすれば、あと
は従来の内容と同じく情報交
換の新聞ということであり、
実際は、今までの「曹青通
信」と何ら変わりは無く、各
寺院、賛助会員・曹青会員へ
送付されるのである。

いづれにせよ、申請時に郵政局の
規定をクリアするための方策が必要
である。因みに、真如苑で発行して
いる機関誌は、その名称は「内外時
報」である。「時報」となれば、当
局の方も認可してくれるのである。
内容は、教化新聞のようであるが…。

◎「ネーミングの変更」につい
ては、前回九十九号にて公募
いたしました。その後、「そ
うせい」という題号で良いと
の御意見等ありまして、今後
「そうせい」を正式名称とさ
せていただきたいと思います
ので宜しく御願ひ致します。

郵 政 公 報

※第三種郵便物の改善に伴う取扱手続

| 取 扱 手 続 | 備 考 |
|--|--|
| <p>第1 認可申請書の送付</p> <p>次の事項を調査し、申請書は、調査結果を記入した調書、最近発行に係る提出された見本2部のうちの1部（申請の日以前に発行した定期刊行物があるときは、さらに各1部）及び証明資料を添えて、書留郵便物として自局を受け持つ地方郵政局へ送付する。（注1・2）</p> <p>1 定期刊行物は次の条件を備えているか</p> <p>(1) 毎年4回以上号を追って定期に発行するものか</p> <p>(2) 掲載事項の性質上発行の終期を予定し得ないものであるか</p> <p>★ (3) 政治、経済、文化その他公共的な事項を報道するか又は論議することを目的とし、あまねく発売されるものであるか（注3、4）</p> | <p>2 次の刊行物は、第1の1(3)の条件を具備しないものとみなす。</p> <p>(1) 会報、会誌、社報その他団体が発行するもので、当該団体の構成員の消息、意見交換等を主たる内容とするもの。</p> <p>(2) 広告（法令の規定に基づき掲載されるものを除く。）が全体の印刷部分の100分の50を超えるもの</p> <p>(3) 1回の発行部数が500部に満たないもの</p> <p>(4) 1回発行につき、発売部数が当該発行部数の100分の80に満たないもの</p> <p>(5) 定価を付していないもの</p> |

※文化的・公共的な事項・記事を取り上げるスペースも必要。

その上で本来の曹青通信の内容を従来通り記事にすることで体裁は整えられる。

※裏表紙に、定価を付さなくてはならないことも条件の1つであり、その定価については、全曹青会費中に含むものとする。



位は莊嚴5理

仏壇
仏具

翠雲堂

本店 東京都台東区元浅草4-9-14 TEL03(3842)0201
支店 稲荷町店・稲荷町駅前店・上野駅前店・等々力店
砧店・横浜店・大宮店・船橋店・松戸工場

全国曹洞宗青年会第13期 会長選考について(公募)

会長選考委員会において、会則並びに細則に従って左記の事項が決定されました。

全国曹洞宗青年会第13期会長に立候補するものは、左記の要項に従い、立候補届けを完了してください。

全国曹洞宗青年会第13期会長選考委員会

委員長 木内邦彦

全国曹洞宗青年会 第13期会長選考委員会届出要項

一、立候補届出並びに履歴書の提出

(書式Aを参照)

二、立候補者の曹洞宗青年会における経歴書の提出(書式Bを参照)

三、二十名以上の推薦者名簿の提出(書式Cを参照)

四、立候補に当たつての執行方針の提出(書式Dを参照)

五、立候補届出先

〒092-0202

北海道網走郡津別町幸町62-19

禅昌寺

第13期会長選考委員会

委員長 木内邦彦

〒0142716-2613

六、立候補届出提出期限 平成9年

2月28日(必着)

七、届出方法 必ず郵便書留にてお

願い致します。

選考委員の構成は下記の通りです。

委員長 木内邦彦

副委員長 保坂康雄

委員 松本俊英(関東理事)

委員 村瀬法晃(東海理事)

委員 関戸章仁(近畿理事)

委員 越海暢芳(中国理事)

委員 本上一真(四国理事)

委員 甲斐之彦(九州理事)

委員 村上静雪(北信越理事)

委員 保坂康雄(東北理事)

委員 木内邦彦(北海道理事)

委員 寿松木宏毅(全曹青会長)

全国曹洞宗

青年会会則(抜粋)

第三章 役員

第九条(役員の種類及び数)

本会に次の役員を置く。

① 会長 一名

② 副会長 三名

③ 理事 九名

④ 委員長 各一名

⑤ 事務局長 一名

⑥ 会計 一名

⑦ 監事 二名

第十条(役員任期)

役員任期は二年とし、再任を妨げない。但し欠員が生じた場合は、前任者の残任期間とする。

第十一条(役員資格及び選任)

一、本会の役員は第七条に定める正会員四十歳未満より選任する。但し、期間中は、正会員としての権利および義務を有する。

二、本会の役員選任は次のとおりとする。

① 会長は、別に定める細則に随って選任する。

② 副会長は、別に定める細則に随って選任する。

③ 理事は、各管区より一名選出する。

④ 委員長は、理事会で選任する。

⑤ 事務局長並びに会計は、会長が指名し、理事会並びに評議員会の承認を得る。

⑥ 監事は、理事会が推薦し、評議員会で選任し、総会においてその承認を行う。

第五条

候補の届け出を期限までに完了した者とする。

第六条

立候補届け出の諸手続きは、選考委員会で別に定め、初年度の一月三十一日までに、これを公報する。

第七条

次期会長候補の選考は、第四条の定める候補者の中より、選考委員会で、責任をもって選考する。

第八条

第七条により選考した者を、次期会長予定者とする。

第九条

次期副会長の選考は、選考委員会と次期会長予定者と協議し、現会長の第二年度総会開会までに、責任をもって選考する。

第十条

第九条より選考した者を、次期副会長予定者とする。

第十一条

選考委員会は、選考した次期会長予定者および副会長予定者を、評議員会の決定を得て、第二年度の総会でその承認を行う。

第十三条

次期会長および副会長予定者は、現会長第一年度の三月三十一日までに、四十歳未満の者とする。

第三号

会長副会長選出に関する細則

第一条 この細則は、本会の会則第十条第二項に基づき、会長、副会長の選考に関する事項を規定する。

第二条

選考委員会は、管区理事および現会長をもって構成する。

第三条

選考委員長および副委員長各一名は、委員の互選による。

第四条

次期会長候補の選考の対象者は、選考委員会の推薦する者および選考委員会の定める立

